

平素より、ＪＲ九州をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
安全報告書２０１９の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

平成３０年７月豪雨によりお亡くなりになられた方に対し、哀悼の意を表すとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。当社においても切取斜面の崩壊や線路への土砂流入などの被害を受け、筑豊本線の一部が不通となりましたが、今年３月に運転再開をすることができました。鉄道関係者のみならず、地域の皆さまをはじめとした様々な方々のご尽力のおかげであり、心より御礼申し上げます。一方で、熊本地震や九州北部豪雨の被災により、現在も当社内の一部区間が不通となっております。今後の復旧に向けて、地域の皆さまとともに知恵を出していきたいと思っております。

当社では２０１７年度から“ゆるぎなき安全”をつくりあげていくための３ヵ年計画である「安全中期計画２０１７－２０１９」に取り組んでいます。株式を上場し完全民営化の実現後も、様々な社会的使命がある中で安全が最大の使命であることに変わりはありません。今後も、「安全創造運動」や「安全創造館」研修などにより社員の安全意識を高め、全社員が緊張感と責任感をもって、鉄道の安全運行に誠実に取り組んでまいります。

この安全報告書２０１９は、鉄道事業法第１９条第４項に基づき、２０１８年度における鉄道の安全への取り組み等をみなさまにご報告するものです。是非ご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。２０１８年度の安全への取り組みを正しく評価し、反省すべき点を改善しながら、２０１９年度の取り組みを推進してまいりますので、引き続きＪＲ九州をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

２０１９年９月



九州旅客鉄道株式会社

代表取締役社長執行役員

青 柳 俊 彦